

書類交付及び教務ガイダンス

生命科学部生命科学科1年次

本日のガイダンススケジュール

① 書類交付

② アンケート

③ 教務ガイダンス

書類交付

下記の順路に沿って各自配付資料を受け取り座席に着席してください。

ステージ上の配付物



順路

- ① まずステージ上の配付物を一人一部ずつ取り、座席に座ってください。
- ② 着席の際は、**番号札がついている座席**に座ってください。
- ③ 着席後、アンケート説明資料を確認し、
アンケートに**必ず回答**してください。
(アンケートの回答をもって出席とします)

本日のガイダンススケジュール

① 書類交付

② アンケート

③ 教務ガイダンス

アンケート

1年次ガイダンス座席位置確認のお願い

コロナウイルス感染拡大防止のため、座席位置確認にご協力ください。

以下の要領に沿ってアンケートに回答してください。

- ① QRコードでアンケートサイトに移動する。

A screenshot of a smartphone displaying a survey form. The title is "ガイダンス座席位置 確認について" (Guidance Seat Position Confirmation). Below the title, it says "匿名で返信します。" (Responding anonymously). There is a red asterisk indicating a required field: "1. 学籍番号*" (1. Student ID*). Below this is a text input field with the placeholder "回答を入力してください" (Please enter your answer). A green button labeled "送信" (Send) is at the bottom. At the very bottom of the screen, there is a small disclaimer: "このコンテンツはフォームの閲覧者が送信したものです。返信したコンテンツはフォームの閲覧者に送信されません。パスワードを記載しないでください。" (This content is for the form viewer. Replies will not be sent to the form viewer. Do not include passwords.)

本日のガイダンススケジュール

① 書類交付

② アンケート

③ 教務ガイダンス

教務ガイダンス

生命科学部生命科学科1年次



配布資料

◎本日の配布資料

1. 配付書類及び解説
2. 新入生オリエンテーション等日程表
3. 学生便覧
4. 履修ガイド（各学部別）
5. 履修ガイド（K'sLife利用ガイド）
6. 授業時間割表【専門科目・KSU基盤教育科目・外国語科目の3種類】
7. 教職課程について
8. 楽天Edy学生証利用案内
9. 教科書・教材WEB販売チラシ
10. Campus
11. CAMPUS DIARY（学生手帳）
12. CIRCLE GUIDE（学友会誌）
13. 「NHKからの大切なお知らせ」チラシ
14. 「福岡市消費生活センター」チラシ
15. 大学生活を守るための諸注意
16. 定期健康診断日程表
17. 学生教育研究災害傷害保険のしおり
18. キャンパスハラスメント冊子
19. 九州産業大学美術館展覧会スケジュール2021-2022
20. 九州産業大学美術館所蔵品展「face」チラシ
21. 九州産業大学の資格取得講座
22. 広報誌「+K（プラスケー）」
23. 入学直後アンケート
24. キャリア形成基礎論受講のすすめ

封筒の中に、**「配布書類及び解説」（A4縦1枚）**に記載されているものが、すべて入っているか確認してください。

大学とは

卒業するためには

履修登録の仕方（時間割作成）

大学生活を過ごす上で

高校と大学の違い

	高校	大学
学期制	3学期制(原則)	2学期制(前学期・後学期)
授業時間	50分	100分
授業時間割 (履修)	指定されている (クラス共通)	自分自身で 選択 する
クラス制及び クラス担任	あり (1クラス10~20人程度)	あり (ゼミナール担当教員)
教室	指定されている (クラス共通)	選択した授業科目によって 異なる (授業科目ごとに指定)
卒業要件	学年制(原則)	単位制 (124単位以上) 各学部の卒業に必要な単位数を修得する

大学生は「自己選択→自己決定→自己責任」

学生便覧



在学中、すべてのルールは
学生便覧に基づいている

学年暦(P.1)

1年間のスケジュール

一般のカレンダーと**異なり**、
休暇期間・祝日授業日等
を掲載

学年暦

前学期

後学期

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
授業開始日	4/8～全14回					9/15～全14回						
補講日	4/9,4/23,5/6,5/14,5/28,6/11,6/25,7/9,7/23					9/24,10/8,10/15,11/12,11/26,12/3,12/17,1/11,1/12						
定期試験				7/25～7/30						1/16～1/21		
祝日授業実施日				7/18		9/19,9/23,11/23						
成績公開日					8/30							3/10
休業開始日				夏季休業 7/31～			冬季休業 12/27～					

K'sLife(ケースライフ)



- ▶ [学生、教員、職員の方はこちら](#)
- ▶ [保護者の方はこちら](#)

個人の履修登録、成績、連絡通知について
閲覧可能なWEBサイト
※毎日確認すること

時間割、その他連絡について 閲覧可能なWEBサイト

教務部ホームページ

授業や時間割など教務に関する情報を掲載していますので皆さん確認をしてください。

トップページ

- 教務課からのお知らせ

教務関係のお知らせを掲載します。

- よくある質問

問い合わせが多い内容を掲載します。

- 利用の手引き

- 学籍関係

- 教務の紹介

etc.....

学部のページ

- 履修・授業・卒業に関すること

履修規程の要点を分かりやすくまとめました。
卒業要件や履修のルールを確認してください。

- 時間割

授業の時間割を掲載しています。
試験前は試験時間割を掲載します。

- 学部からのお知らせ

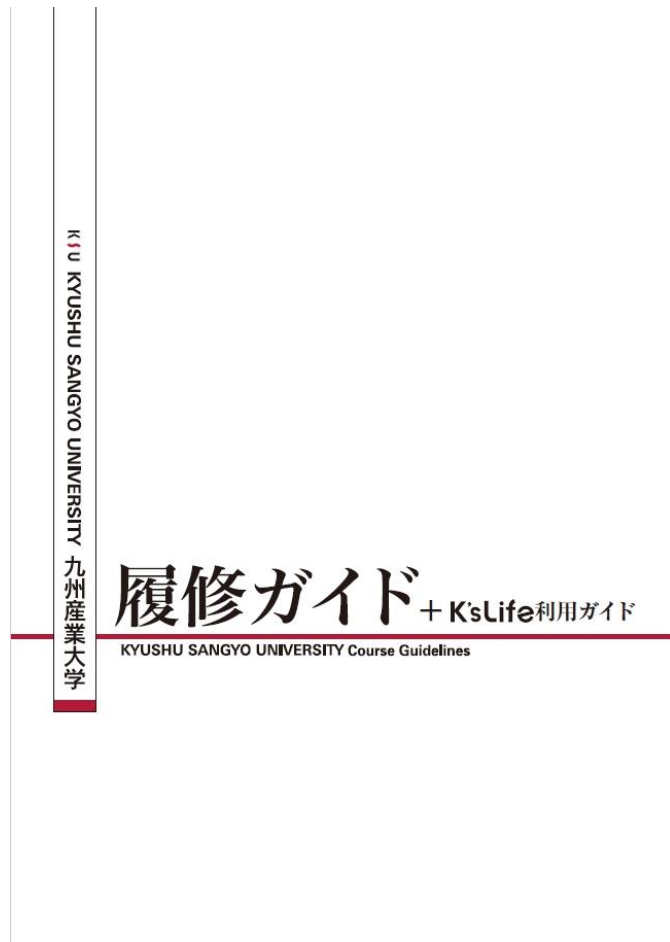
教務関係のお知らせを掲載します。

etc.....

<https://www.kyusan-u.ac.jp/eas/>



履修登録



自分で時間割を作成し、
K'sLifeで授業科目を
WEB登録すること

本年度の履修に関する手引書。
講義受講の注意事項を記載。
必ず一読し、履修登録すること。

シラバス

科目コード	DFG30001		
科目名	九州地域学		
担当教員	千 相哲 木村 俊大 古賀 初生 雲 俊徳 末松 剛 山下 永子 小池 高史 高山 和幸 田代 雅彦 基橋 誠 大万 愛子 宮岡 祐司 森下 俊一郎 豊后 茂		
対象学年	1年	クラス	[001]
講義章	N 3 0 2 教章	開講学期	後期
曜日・時限	火 4	単位数	2
授業形態		単位数	2
準備事項			
備考			
実務家教員	<input type="checkbox"/>		
A 講義概要/Class Outline	<p>地域を取り巻く環境が大きく変化していく中で、地域住民が地域を見直し、誇りを持ち続けられる社会を実現し、地域社会が自律性・独自性を維持するためには、地域の文化的資源の再認識と価値付けが求められる。この授業では、専門領域の異なる教員が連携し、九州の地域社会、経済、産業、人々の暮らしを総合的に概観しながら、九州の地域課題の本質の基本認識、問題解決に必要な考え方、専門領域横断的分析方法や考察方法について学ぶ。【本授業は対面と遠隔を組み合わせて実施し、対面・遠隔の実施日程は初回の授業で指示します】</p>		
B 講義計画(テーマ及び学習内容)	回	内容	
	1	九州の観光特性と観光ビッグバンについて学ぶ。	
	2	九州地域の地理的特性と主要産業の分布について、他の地域との関係について学ぶ。	
	3	九州地域における芸術文化を通じた地域活性化の取り組みについて学ぶ。	
	4	九州地域における農業について、その特徴を農産物ブランドから学ぶ。	
	5	九州地域における地方自治の現状と課題について学ぶ。	
	6	九州地域における様々な課題について、憲法、行政法、地方自治法について学ぶ。	
	7	公的統計を紐解きながら、九州地域の人口構成・移動、住まい、暮らしについて学ぶ。	
	8	九州主要地域の国際戦略・都市マーケティング戦略について学ぶ。	
	9	地域に根ざした歴史史料に着目し、先人の育んできた地域社会・暮らしについて学ぶ。	
	10	アニメ聖地巡礼による九州地域への誘客の可能性について、事例から学ぶ。	
	11	温泉王国九州の魅力とは何か。温泉地域の観光の動向とまちづくりについて学ぶ。	
	12	九州の温泉旅館のおもてなしマネジメントについて学ぶ。	
	13	九州の旅行業界のニュービジネスについて学ぶ。	
	14	九州はひとつの理念と九州観光のブランディングについて学ぶ。	
C 到達目標/Class Goal	九州の地域社会や地域課題について学ぶことにより、学部全体の教育を理解し、地域社会の発展に貢献できる人材の育成を目指す。		
D 準備学習の内容(事前・事後学習)	<p>事前学習：教科書の該当部分を事前に読んで講義に臨むこと。(30時間程度)</p> <p>事後学習：教科書で講義内容を復習し、基礎知識や観光用語を確認すること。</p>		
E 評価基準Grading Criteria	地域共創学部授業科目履修規程「成績評価基準」に基づいて評価する。秀で、可(C) 60点から69点まで、不可59点以下		
F 評価方法/Grading Method	授業毎の小テストの結果を総合して評価する。		
G 受講上の注意/Class Rules	講義中は私語を慎むこと。また、講義章は準常指定を行う。		
H 受講前提/Prerequisite	本科目は地域共創学部の全員履修科目であるため、受講生数が教章のキャパをオーバーする場合は、地域共創学部の学生の履修を優先する。		
I 関連する科目Related Class	観光関連科目、地域づくり関連科目		

授業科目の内容・学修計画等を記載
K'sLifeで閲覧可能

※シラバスを確認の上で
履修登録すること

出席

入室登録	授業開始 10分前 から 授業開始 (チャイム) まで
退室登録	授業終了 15分前 から 授業終了 10分後 まで

※遠隔授業は別途指示に従うこと

出席の登録は、各教室に設置のICカードリーダーに
学生証をかざす必要がある。

※学生証をかざす**時間帯**には注意すること。

休講・補講

休講：授業担当者のやむを得ない理由で授業が行われないこと。

補講：休講した授業を補うために行う授業。
土曜日または平日の6限に実施。

※休講・補講の情報は**K'sLifeで通知**。

大学の学修

1 時間割を作成、WEB履修登録を行う

時間割確定後、教科書を購入

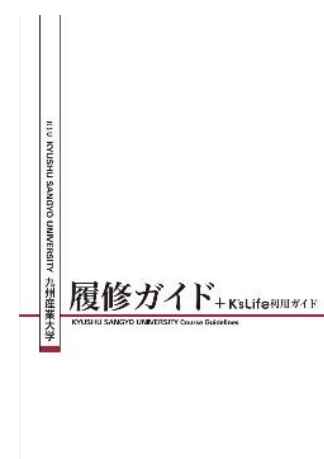
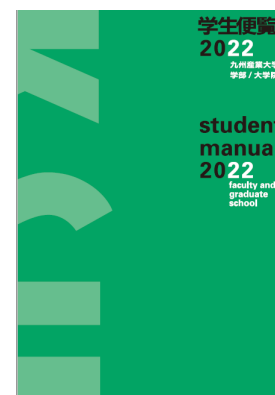
2 授業に出席

休講・補講に気を付けること

3 レポート提出等、定期試験

4 卒業に必要な単位を修得

5 卒業



学生便覧・履修ガイド・
授業時間割表を参照すること

スケジュール

大学とは

卒業するためには

履修登録の仕方（時間割作成）

大学生活を過ごす上で

「学則」 大学全体に関するルール

- ・ 第15条：卒業要件
別表第10は、P.66に記載。
卒業までに **1 2 4 単位以上** 必要。
- ・ 第18条：単位の認定
授業科目修了の認定は、筆記又は口頭による試験や
その他適当な方法によって行われる。

成績評価は以下表示形式。

秀(S)・優(A)・良(B)・可(C)・不可(D/E)

単位修得

教育課程

基礎教育科目

広く様々な学問を学び
人間力を養う

外国語科目

外国語によるコミュニケーション能力を養う
(英語・初修外国語)
「聞く・話す・読む・書く」

専門科目

特定の分野について
専門的に学ぶ
(学部・学科で異なる)

卒業（124単位以上）

卒業要件【選択必修・選択科目について】

生命科学部履修規程第5条：卒業要件

授業科目区分		授業科目及び単位数
		生命科学科
専門科目	必修科目	54単位
	選択必修科目	2単位以上
	選択科目	38単位以上
基礎教育科目	導入科目	2単位
	学修基礎科目	22単位以上
	キャリア科目	
	文理芸融合科目	
	教養科目	
外国語科目		英語6単位以上
合計		124単位以上

卒業要件【選択必修・選択科目について】

年次別授業科目配当表

生命科学部 生命科学科 (応用化学コース)		*印は必修科目 △印は選択必修科目							
区分	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
化学系	*生命科学導入実験	2	*無機化学Ⅰ *無機化学Ⅱ *有機化学Ⅰ *有機化学Ⅱ *物理化学Ⅰ *物理化学Ⅱ *分析化学Ⅰ *分析化学Ⅱ *化学基礎実験 (コンピュータ活用を含む) 高分子化学Ⅰ	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	*応用化学実験Ⅰ △応用化学実験Ⅱ 無機化学Ⅲ 有機化学Ⅲ 物理化学Ⅲ 高分子化学Ⅱ 化学と安全 機器分析 無機機能材料 有機機能材料 複合材料 医療材料 高分子材料 水質環境化学	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	*卒業研究 *卒研ゼミナールⅠ *卒研ゼミナールⅡ	6 2 2	
	生命科学系		*生化学Ⅰ 生化学Ⅱ 分子生物学Ⅰ 分子生物学Ⅱ 医用工学 微生物学 食品衛生学	2 2 2 2 2 2 2	*薬学Ⅰ 薬学Ⅱ 化粧品基礎科学 化粧品製剤学 生体工学 化粧品機能学 △生命科学応用実験 △食品科学実験	2 2 2 2 2 2 2 2			
学共	*基礎生物学 *生物学 *環境科学 地球科学Ⅰ 地球科学Ⅱ *基礎化学Ⅰ *基礎化学Ⅱ *情報科学Ⅰ *情報科学Ⅱ	2 2 2 2 2 2 2 2	化学数学 地球科学実験 (コンピュータ活用を含む)	2 2	科学英語	2			
	キャリア設計				*プレ卒研ゼミナール インターンシップ	2 2			
理工学基礎	*基礎数学 基礎物理 物理学Ⅰ	2 2 2	物理学Ⅱ 物理実験 (コンピュータ活用を含む) 微積分学	2 2 2	プログラミング入門	2			

〈専門科目〉 年次別授業科目配当表

4年間で履修できる専門科目が
全て記載されている。

1年生は「第1年次」の
配当科目が履修可能

《卒業するまでに必要な単位数》
*必修科目 54単位以上
△ 選択必修科目 2単位以上
□ 選択科目 38単位以上

- 1年次配科目は全コース同じ科目
- 2年生からのコース分けによって、履修する科目などが変わってくる

卒業要件【外国語科目について】

年次別授業科目配当表

生命科学部共通		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次
区分		授業科目(単位)	授業科目(単位)	授業科目(単位)	授業科目(単位)
基礎教育科目	導入科目	大学スタディスキル (2)			
	学修基礎科目	英用国語(文筆力) (2)	英用国語(伝達力) (2)		
		英用数学(計算力) (2)	英用数学(活用力) (2)		
	キャリア科目	A1導入 (2)			
		プログラミング導入 (2)			
		キャリア学習法 (2)	キャリア開発論 (2)	キャリア形成戦略 (2)	
		消費者リテラシー (2)			
	文理芸融合科目	消費リテラシー (2)			
		九条大力 (2)			
		学生サポーター (2)			
		学生ボランティア入門 (2)			
	教育科目	実践タロス講座 (2)		インタラクティブディスカッション (2)	
		実践タロス演習 (2)			
		実践力育成演習 (2)			
課題解決演習 (2)					
教養講座 (2)					
科目		実践コファ講座 (2)			
		実践コファ演習 (2)			
科目		日本の歴史 (2)			
		世界の歴史 (2)			
		科学の歴史 (2)			
		文学の世界 (2)			
		心理学の世界 (2)			
		文化人類学 (2)			
		美術・美術史 (2)			
	芸術の世界 (2)				
	人文科学の世界 (2)				
	科目	社会学の世界 (2)			
法学 (2)					
日本国憲法 (2)					
現代の政治 (2)					
犯罪の世界 (2)					
人格・同和問題 (2)					
ジェンダーと社会 (2)					
社会科学の世界 (2)					
科目		科学の世界 (2)			
		地球環境 (2)			
	生物の世界 (2)				
	くらしの中の数学 (2)				
	自然科学の世界 (2)				
	スポーツ科学演習 (2)				
	心と身体の健康 (2)				
	外国語科目	Writing & Writing II (1) Reading & Writing II (1) Reading & Writing III (1) Reading & Writing IV (1)			
		Listening & Speaking I (1) Listening & Speaking II (1) Listening & Speaking III (1) Listening & Speaking IV (1)			
		English Plus (1)			
English Expressions (2)					
Four Skills I (2) Four Skills II (2)		TOEIC Plus (2)			
Labo Training I (1) Labo Training II (1)		Writing Focus (2)			
Domestic Job Training (4) Overseas Job Training (4)		Business English (2)			
		English Pronunciation (2)			
		Introduction to Translation (2)			
		Global Perspectives (2)			
科目	ドイツ語 I (1) ドイツ語 II (1) ドイツ語 III (1) ドイツ語 IV (1)				
	ドイツ語会話 I (1) ドイツ語会話 II (1) ドイツ語会話 III (1) ドイツ語会話 IV (1)				
	フランス語 I (1) フランス語 II (1) フランス語 III (1) フランス語 IV (1)				
	フランス語会話 I (1) フランス語会話 II (1) フランス語会話 III (1) フランス語会話 IV (1)				
	韓国語 I (1) 韓国語 II (1) 韓国語 III (1) 韓国語 IV (1)				
	韓国語会話 I (1) 韓国語会話 II (1) 韓国語会話 III (1) 韓国語会話 IV (1)				
	英用韓国語 (1) 上級韓国語 (1)				
	中国語 I (1) 中国語 II (1) 中国語 III (1) 中国語 IV (1)				
	中国語会話 I (1) 中国語会話 II (1) 中国語会話 III (1) 中国語会話 IV (1)				
	英用中国語 (1) 上級中国語 (1)				

〈基礎教育科目・外国語科目〉
年次別授業科目配当表
4年間で履修できる基礎教育科目と外国語科目が
全て記載されている。

《卒業するまでに必要な単位数》
導入科目 2単位
学修基礎科目
キャリア科目
文理芸融合科目
教養科目

22単位以上

外国語科目	英語表現	Writing & Writing I (1) Reading & Writing I (1) Reading & Writing II (1) Reading & Writing III (1)
	Listening & Speaking I (1) Listening & Speaking II (1) Listening & Speaking III (1) Listening & Speaking IV (1)	
	English Plus (1)	
	English Expressions (2)	
	Four Skills I (2) Four Skills II (2)	
	TOEIC Plus (2)	
	Labo Training I (1) Labo Training II (1)	
	Writing Focus (2)	
	Business English (2)	
	English Pronunciation (2)	
Introduction to Translation (2)		
Global Perspectives (2)		
科目	ドイツ語 I (1) ドイツ語 II (1) ドイツ語 III (1) ドイツ語 IV (1)	
	ドイツ語会話 I (1) ドイツ語会話 II (1) ドイツ語会話 III (1) ドイツ語会話 IV (1)	
	フランス語 I (1) フランス語 II (1) フランス語 III (1) フランス語 IV (1)	
	フランス語会話 I (1) フランス語会話 II (1) フランス語会話 III (1) フランス語会話 IV (1)	
	韓国語 I (1) 韓国語 II (1) 韓国語 III (1) 韓国語 IV (1)	
	韓国語会話 I (1) 韓国語会話 II (1) 韓国語会話 III (1) 韓国語会話 IV (1)	
	英用韓国語 (1) 上級韓国語 (1)	
	中国語 I (1) 中国語 II (1) 中国語 III (1) 中国語 IV (1)	
	中国語会話 I (1) 中国語会話 II (1) 中国語会話 III (1) 中国語会話 IV (1)	
	英用中国語 (1) 上級中国語 (1)	

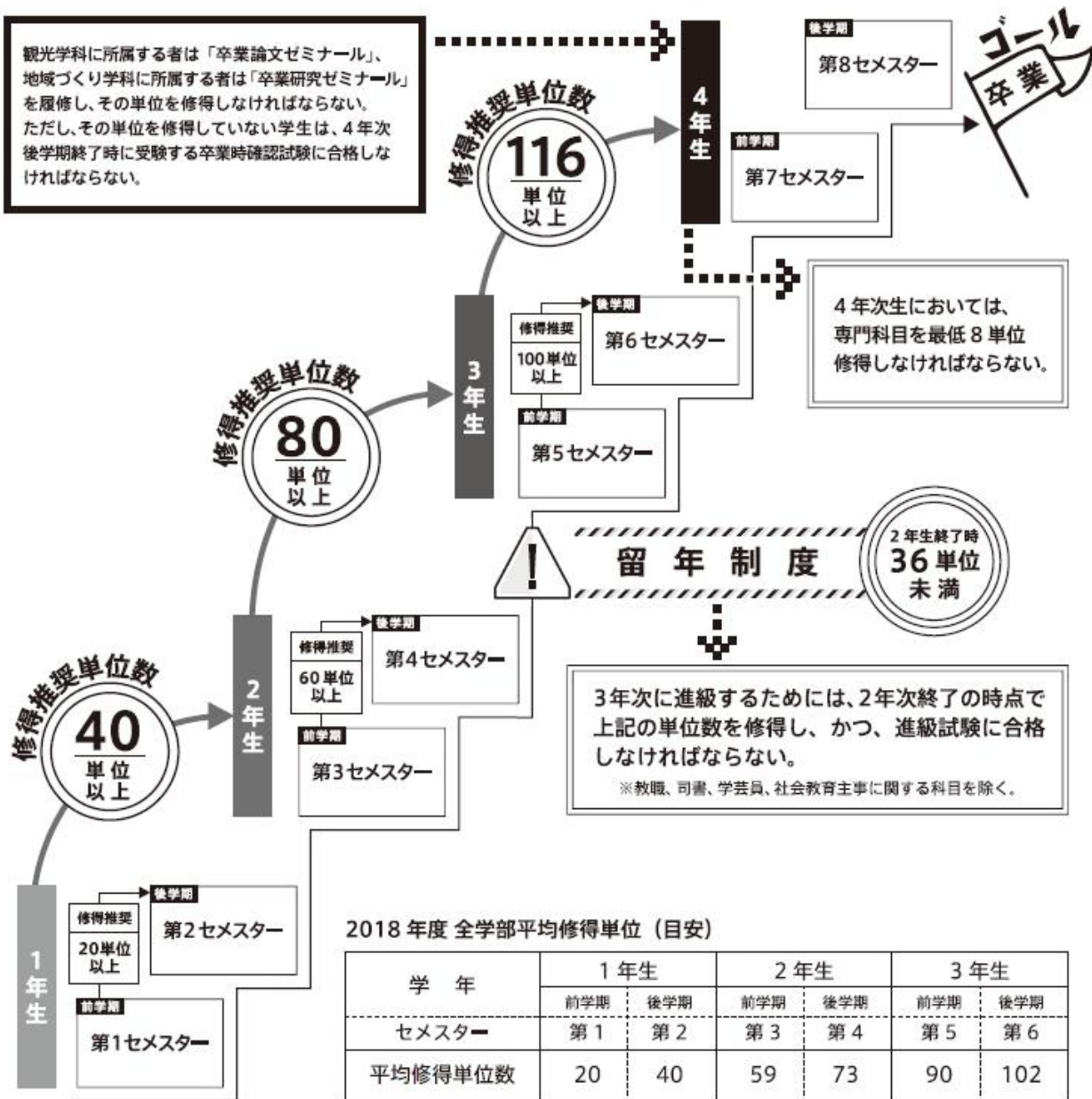
※「タロス科目」は、各学部の学生が交替（タロス）して取り組む授業科目を指す。
 ※「コラボ科目」は、各学部の教員が協働（コラボレーション）して実施する授業科目を指す。

区分		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次
		授業科目(単位)	授業科目(単位)	授業科目(単位)	授業科目(単位)
日本語	英語表現	英語表現 I (1) 英語表現 II (1) 英語表現 III (1) 英語表現 IV (1)	英語表現 V (1) 英語表現 VI (1) 英語表現 VII (1) 英語表現 VIII (1)	英語表現 IX (1) 英語表現 X (1) 英語表現 XI (1) 英語表現 XII (1)	英語表現 XIII (1) 英語表現 XIV (1) 英語表現 XV (1) 英語表現 XVI (1)
	Listening & Speaking I (1) Listening & Speaking II (1) Listening & Speaking III (1) Listening & Speaking IV (1)				
	English Plus (1)				
	English Expressions (2)				
高専特選	日本の歴史 I (2) 日本の歴史 II (2)	日本の文化 I (2) 日本の文化 II (2)	日本の政治経済 I (2) 日本の政治経済 II (2)	一般日本事情 I (2) 一般日本事情 II (2)	

《卒業するまでに必要な単位数》
英語 6 単位以上

卒業要件【修得推奨単位について】

観光学科に所属する者は「卒業論文ゼミナール」、地域づくり学科に所属する者は「卒業研究ゼミナール」を履修し、その単位を修得しなければならない。ただし、その単位を修得していない学生は、4年次後学期終了時に受験する卒業時確認試験に合格しなければならない。



左表を参考に、卒業までの**計画的**な単位修得を心掛けてください。

1年間を2学期制で実施することを「セメスター制」という。
1年間に2セメスター実施。

卒業要件【履修制限について】

生命科学部履修規程第13条：履修制限

- 1年間で履修できる上限単位数

44単位

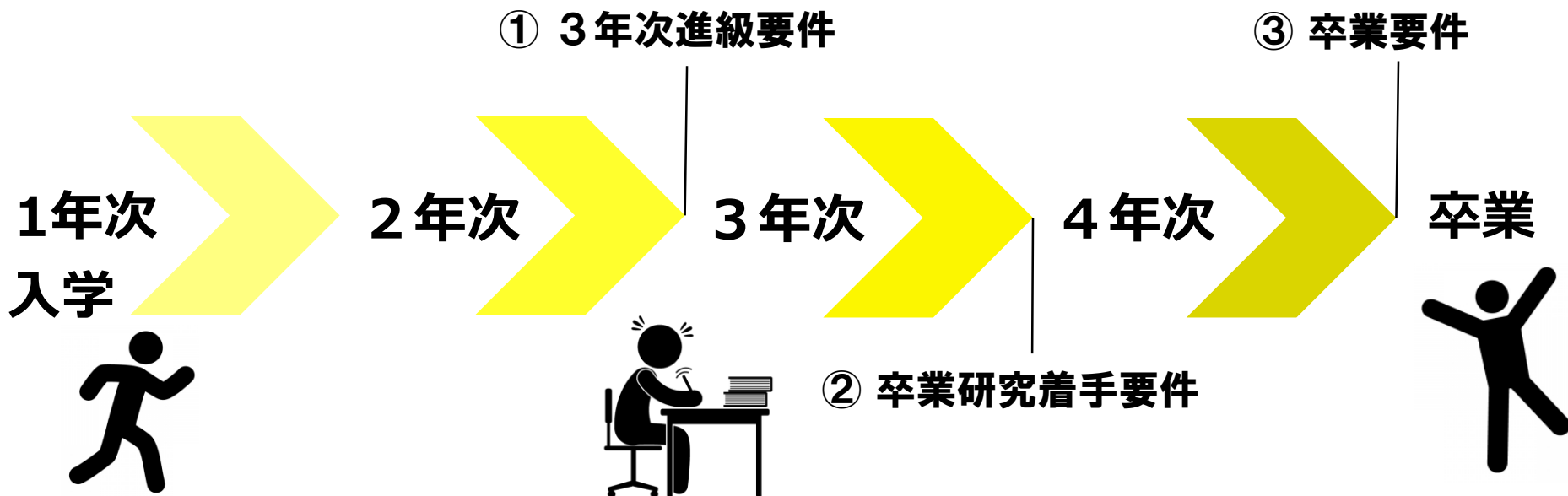
- 半期で履修できる上限単位数

28単位

※後学期の基礎数学再履修クラス、集中講義科目は履修上限には含まれません。

卒業要件【履修制限について】

入学から卒業までの履修制限



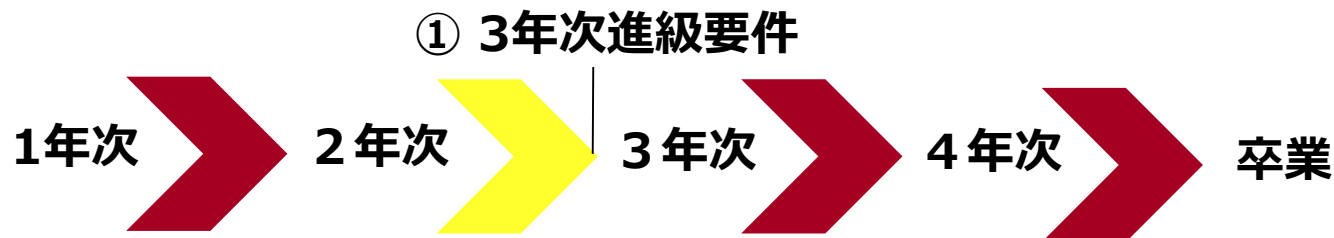
各年次ごとに履修制限があるため、しっかり理解して計画的に履修登録を行ってください。

卒業要件【履修制限について】

◀① 3年次進級要件▶

1年次及び2年次に配当されている授業科目（基礎数学、基礎化学Ⅰ及び基礎生物学を含む）を56単位以上修得していなければ2年次のままとし、3年次に進級することができない。

学生便覧P.154



卒業要件【履修制限について】

《② 卒業研究着手要件》

3年次までに配当されている必修科目のうち、実験及び実習科目の単位を全て修得していること。

卒業に必要な124単位のうち、必修科目34単位以上を含む94単位以上を修得していること。

学生便覧P.154

② 卒業研究着手要件

1年次



2年次



3年次



4年次



卒業

卒業要件

◀③ 生命科学部卒業要件▶

卒業するまでに必要な単位は、**124単位**
ただし、下記の卒業要件を満たさなければならない。

授業科目区分		授業科目及び単位数
		生命科学科
専門科目	必修科目	54単位
	選択必修科目	2単位以上
	選択科目	38単位以上
基礎教育科目	導入科目	2単位
	実践科目	20単位以上
	教養科目	
	心と身体の健康科目	
外国語科目	英語 8 単位以上	
合計		124単位以上

選択必修を
2単位上修得した場合、
選択科目に振り分け
られる

③ 卒業要件

1年次

2年次

3年次

4年次

卒業

学生便覧 P.154

スケジュール

大学とは

卒業するためには

履修登録の仕方（時間割作成）

大学生活を過ごす上で

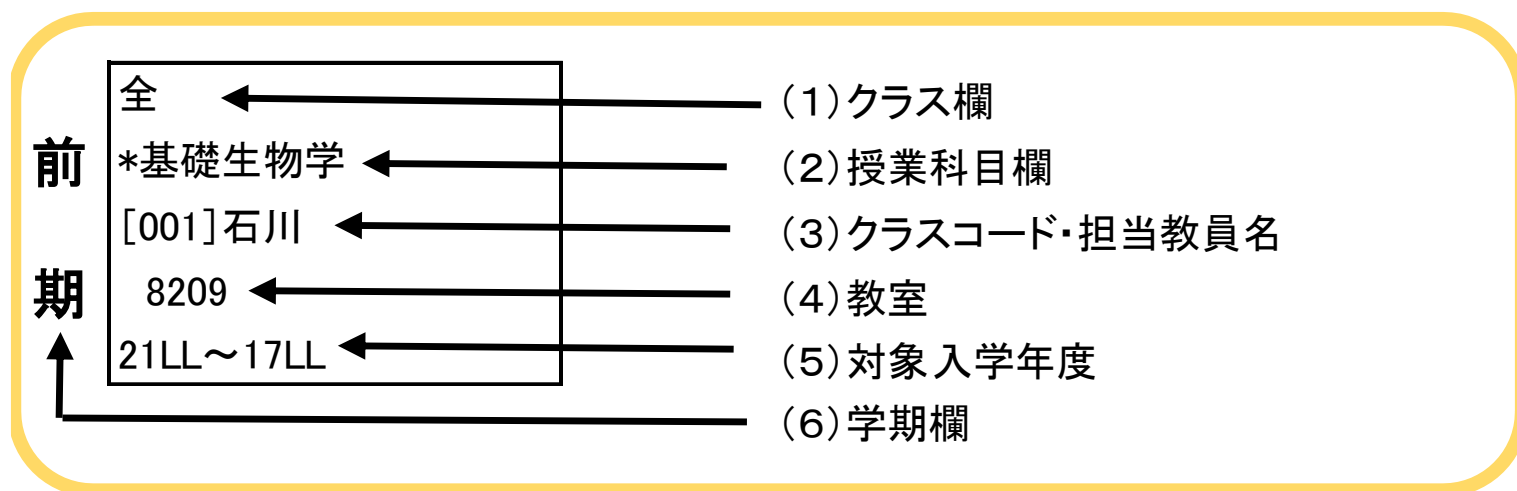
授業時間割

本日配布している授業時間割表は3種類

- ① 「生命科学部科目授業時間割表」
 - ② 「KSU基盤教育科目・教職・留学生（日本事情）科目」
 - ③ 「KSU基盤教育科目（外国語科目・留学生の日本語）」
- ※ ②と③は全学共通

授業時間割【見方について】

授業時間割には、
期別（前・後学期・通年）・講義科目・担当者・講義室が記載



「生命科学部授業時間割表」の下段に時間割の見方を記載しているの確認してください。

授業時間割【見方について】

教室の見方

N 1 0 1	1号館 1階北側	1 0 1 教室
2 E 3 0 1	2号館 3階東側	3 0 1 教室
8 3 1 5	8号館 3階	8 3 1 5 教室
1 2 1 0 7	12号館 1階	1 2 1 0 7 教室
4 2 番	中央会館 4階	4 2 番 教室
パソソ教室1	中央会館 4階	パソソ教室
パソソ演習室2	中央会館 3階	パソソ演習室

授業時間割を変更する場合

- ①授業追加
- ②受講者数等の理由で教室変更
- ③担当者変更等

※教務部HPに掲載



履修ガイド+K`sLife利用ガイドにも
記載されています。

履修ガイド P.6

授業時間割【英語クラスについて】

事前に履修登録されている外国語科目

- 「Reading & Writing I・II」
- 「Listening & Speaking I・II」

英語プレイスメントテスト結果によりクラス分け。

4/7に登録されるため、**K'sLifeを確認**すること。



授業時間割【事前に登録された科目について】

事前に履修登録されている専門・基礎教育科目

《前学期》

大学スタディスキル

* 基礎数学（プレイスメントテストの結果によりクラス分け）

* 基礎化学Ⅰ（プレイスメントテストの結果によりクラス分け）

* 情報科学Ⅰ

《後学期》

* 生物学

* 基礎化学Ⅱ

* 情報科学Ⅱ

* 生命科学導入実験

* 環境科学

4/7に登録されるため、**K'sLifeを確認**すること。

国語・数学の履修登録について

4月2日(土)に実施した国語・数学プレイスメントテストの結果により、以下の科目が**履修登録されている場合**があります。この場合は**必ず履修し、単位を修得**してください。

国語科目：「実用国語(文章力)」 「人文科学の世界」
「実践クロス講座（応用国語）」

数学科目：「実用数学（計算力）」

新規科目の紹介【令和4年度からの科目】

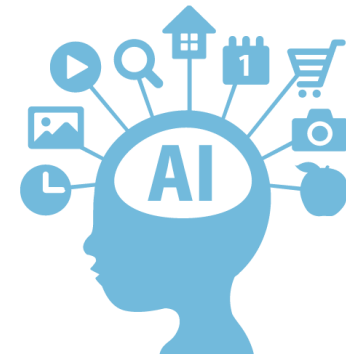
AI導入	AIが社会において与える影響を学び、AIの技術的な仕組みについて学ぶ科目
プログラミング導入	プログラミングに関する基礎知識を深める科目
データリテラシー	高度な数理的分析の前提となるデータの読み方や考え方に関する基本的事項について学ぶ科目
消費者リテラシー	日常生活を送るうえで必ず関わる消費者問題について、その基本概念を学ぶ科目
実践コラボ講座 (ダイバーシティ)	多用な人材 (ダイバーシティ) を採用し、彼らの能力を活かして組織にプラスの効果をもたらす人事戦略を学ぶ科目
実践コラボ演習 (SDGs)	SDGsとの関りが、人類と地球との関係に重要な役割を果たすことを学ぶ科目
実践コラボ演習 (AIと社会)	人間とAIとが協働する社会に適応するための講義・演習を行う科目
くらしの中の数学	社会や暮らしに関連した話題について、数学を用いて考察することを学ぶ科目

皆さんの将来に役に立つ授業となっていますので、
積極的な受講をおすすめします。

AI・データサイエンス副専攻について

AI・データサイエンス副専攻 ～学部横断型の学び～

- ① 社会において必要とされる、AI・データサイエンスに関する**基礎的な教養を修得する。**
- ② 本学に設置する分野から、横断的にAI・データサイエンスに関する**様々な知識・経験を得る。**
- ③ **体系的な学修を通してAI・データサイエンスの考え方を理解し、活用することができる。**



* 興味がある学生は学生便覧P.264をご確認ください。

履修登録【期間について】

●履修登録期間

2022年4月7日(木)10:00～4月9日(土)23:59まで

※**前学期・後学期及び通年科目すべて**上記の期間に履修すること。

●前学期履修変更期間

2022年4月11日(月)10:00～4月14日(木)23:59まで

●後学期履修変更期間

2022年9月8日(木)10:00～9月21日(水)23:59まで

※注意事項

- ①授業内容・教室の規模に応じて履修登録を制限している科目もある。
- ②履修登録期間終了後に履修科目の追加登録はできません。

試験【定期試験・追試験】

前学期定期試験

2022年7月25日(月) ~ 7月30日(土)まで

後学期定期試験

2023年1月16日(月) ~ 1月21日(土)まで

○追試験

病気、その他やむを得ない事由で定期試験を未受験の学生に対して行う。

追試験を申し出ることができる要件は**学生便覧**を確認すること。

スケジュール

大学とは

卒業するためには

履修登録の仕方（時間割作成）

大学生活を過ごす上で

教職資格等

教職・学芸員・社会教育主事・司書等
資格取得が可能

《教職課程》

1年次後学期から履修開始

7月頃教職ガイダンス実施（1年次生対象）

《司書・学芸員・社会教育主事》

1年次前学期から履修開始

資格課程ガイダンス（司書・司書教諭・学芸員・社会教育主事）

希望者は以下時間帯に**必ず出席**すること。

4月7日（木） 17:00～ S201教室

日本学生支援機構奨学金

※高校時に申請を行い「採用候補者」となった学生が対象

生命科学部生命科学科 1年生

日程：4月6日（水）13：30～

場所：1号館2階 N204教室

※なお、高校時に申請していない方で、日本学生支援機構奨学金の貸与を希望される方につきましては、この説明会ではなく、新規在学採用の説明会を別途開催します。掲示板等で日程・集合時間等を確認のうえ、出席してください。ご不明な点については、1号館3階厚生課にお尋ねください。

教科書購入Webサイト

[日程]Webサイト公開期間

4/1(金)～5/31(火)

[場所]3号館8階教科書受渡所

4/4(月)～4/28(木)

※4/28以降は1号館横の丸善売店で受け渡し

※注意事項

- ・シラバスを確認すること。
- ・購入後の返品ができない場合があるため、履修登録が終了した後に購入すること。



100分授業の導入に応じて、 夏季や春季の休業期間の延長

- ◇夏季：7月31日（日）～9月14日（水）
- ◇春季：1月23日（月）～3月20日（月）



長期休業期間中の学外での活動を推奨

（例：海外研修・留学、ボランティア等の社会貢献活動、
インターンシップ参加など）

出席

[本学学生のデータ分析の結果]

授業全体の出席率が

 **80%以下** になると、

単位修得率が大きく下がることが分かっている。

急な病気等で休まないといけないこともあるため、

普段から授業にはきちんと**出席**すること！

三者面談

- 1 学期途中で出席率が低い学生については、保護者の方へ文書を送付。
- 2 連続して対象となった学生については、**警告文書、退学勧告文書**を送付。
- 3 学期末に出席率.GPA.修得単位数が低い学生については、三者面談。
- 4 改善が見られない場合については、学則に基づく**懲戒（訓告、退学処分）**を行うことがある。



対象にならないように、授業には**必ず出席**すること！

本日以降スケジュール

《4月6日（水）》

14:00～15:00 **WEB履修登録説明会**

中央会館4階 パソコン教室 1, 2

※学生便覧・履修ガイド・授業時間割表を**必ず持参**すること

15:30～16:30 **公務員説明会**

8号館2階 8209教室

《4月7日（木）》

10:00～ **履修登録開始**

《4月8日（金）》

授業開始日

※詳細は、新入生オリエンテーション等日程表を確認

教務課からのお願い

1. **電話**に出てください

「092-673-5455」は生命科学部担当からの大事な連絡です。
必ず電話に出るか、折り返しの連絡をしてください。

2. 学籍情報を**更新**してください

メールアドレス・電話番号が変わったら必ず更新してください。
住所変更等、K's Lifeで更新できない項目が変わったら、必ず教務課に届出を
してください。

3. わかないことは何でも**相談**してください

分からないことがあったら、まずは自分で調べてみてください。
調べても分からなければ、すぐ聞く、連絡する、相談するなどしてください。

コロナウイルス感染症の影響に伴う本学の対応

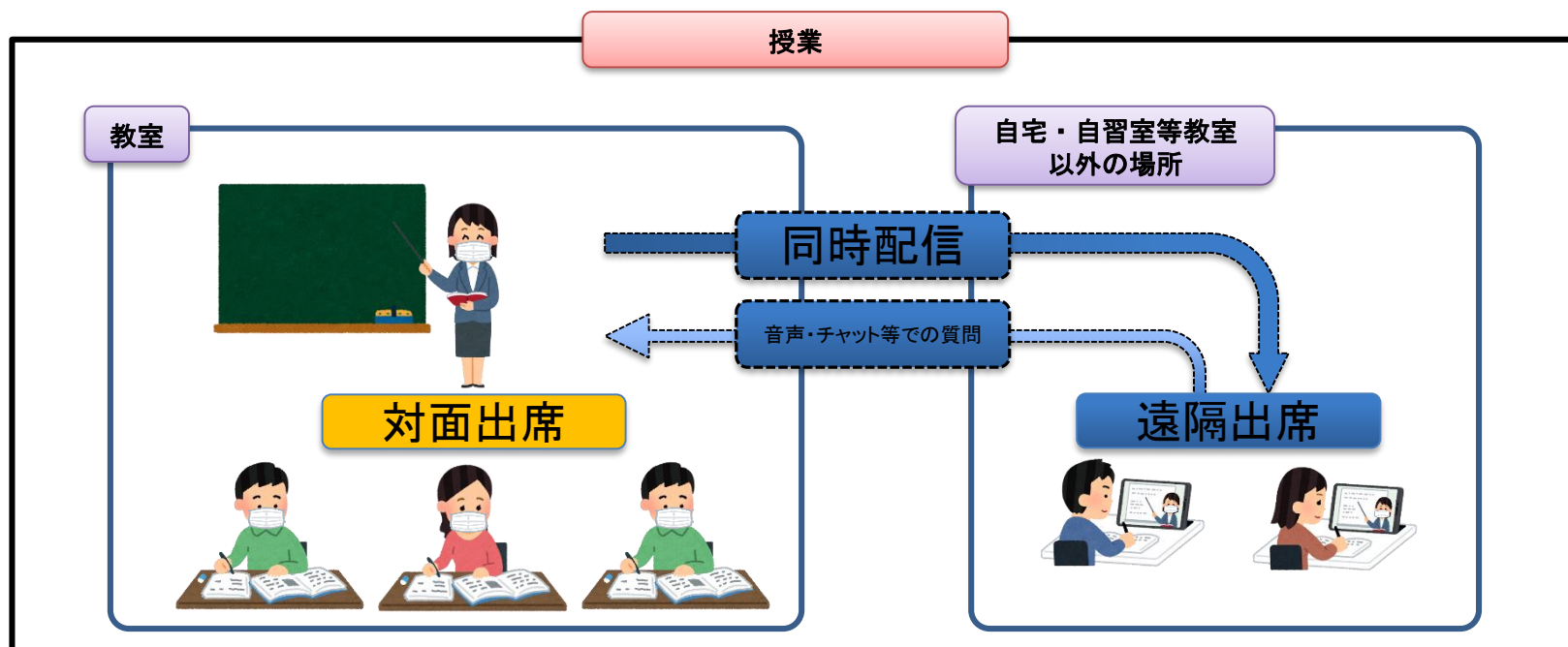
K`s LifeやHPで随時情報を更新していますので、
必ず確認するようにしてください。
大学への出校等に関わる本学の方針に従い、
各自、自己防衛に努めてください。

授業の実施方法【基本】

レベル1～2における「対面授業と遠隔授業を併用して授業を実施」の方法は、ハイフレックス型とします。

ハイフレックス型とは、教員は原則としてZoomを使って教室で授業を行い、学生の皆さんは対面出席、遠隔出席のいずれかの方法で授業に参加する方法を指します。

【ハイフレックス型のイメージ】

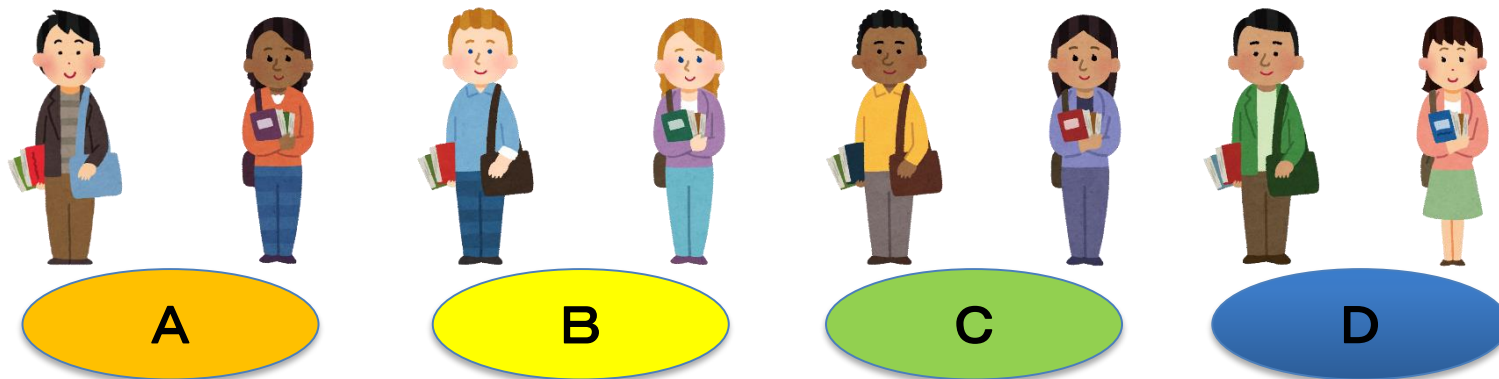


対面出席・遠隔出席の調整方法①

- ～グループ分け～

学生の皆さんの受講環境(対面出席と遠隔出席が同日に重ならない)に配慮し、**感染拡大防止と、学修機会の確保を両立させるため**、大学として統一して、以下の方法で出席率の調整を行います。

- ①全学生をA／B／C／Dの4グループに分けます。
一度、指定されたグループは、基本的に変更しません。



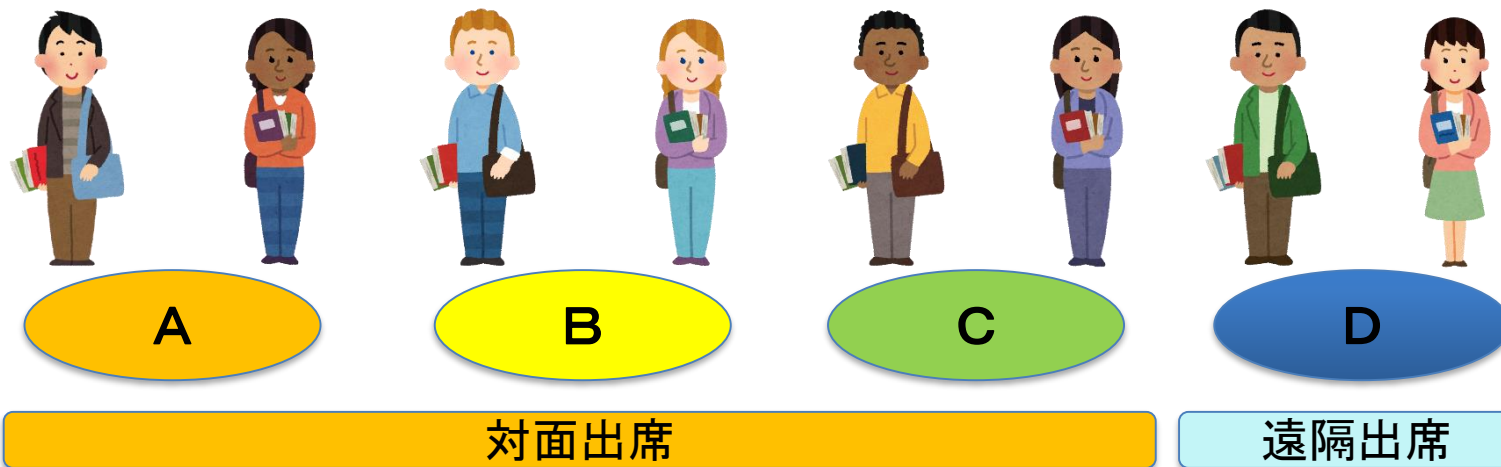
グループ分けの結果は、K'sLifeで通知しているので、確認してください。

対面出席・遠隔出席の調整方法②

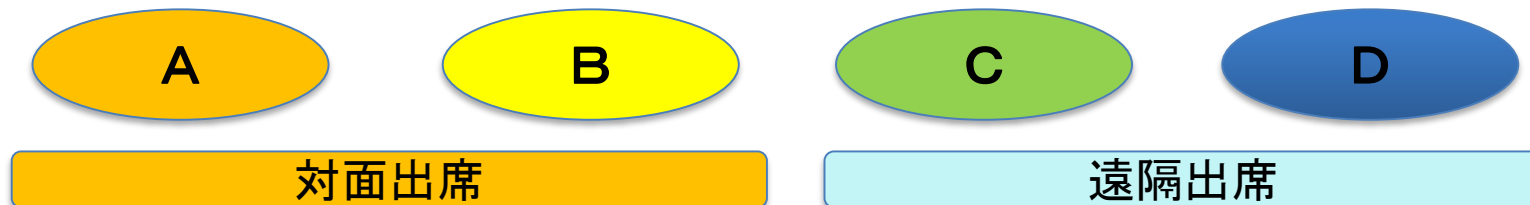
- ～グループ分け～

②レベルに応じて、対面出席のグループを指定します。

【3グループを対面出席とする場合】



【2グループを対面出席とする場合】



対面出席・遠隔出席の調整方法③

③実際の出講日については、学年暦のカレンダーを用いて、下記のように対面出席するグループを指定します。指定は学期単位で行いますが、授業期間途中でレベルが変更になった場合は、対面出席グループを再指定し、改めて周知します。

【例：3グループを対面出席とする場合】

4 月						
日	月	火	水	木	金	土
3	4	5	6	7	8 授業開始 BCD ①	9 ABCD ①②
10	11 CDA ①	12 DAB ①	13 ABC ①	14 BCD ①	15 CDA ②	16
17	18 DAB ②	19 ABC ②	20 BCD ②	21 CDA ②	22 DAB ③	23 ABCD ③④
24	25 ABC ③	26 BCD ③	27 CDA ③	28 DAB ③	29 昭和の日	30

※出席グループは、K'sLifeの通知及び大学HPで確認してください。

学部学科、授業科目の特性に応じた対応

学部学科、授業科目により、実験実習、演習、ゼミナール科目等については、教育効果を考慮し、遠隔グループであっても、対面での出席を求められることがあります。

その際は、授業科目担当者等の指示に従ってください。

- ・ 遠隔グループであっても、対面での出席を希望する場合は、授業科目担当者に申し出てください。
- ・ 体調不良等の場合は出校しないでください。対面出席のグループの場合は、授業科目担当者に相談してください。

